

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] 全国スポーツ・レクリエーション祭の開催事業
評価年月日] 平成12年 月 日
担当部課名] 教育委員会事務局体育保健課
記入課名・課長名] 体育保健課・山本恭嗣・全国スポーツ・レクリエーション祭準備室・小川 悟・059-224-2972

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : 文化・スポーツの振興 (I-3)

施策 : スポーツの振興 (133)

総合計画の目標項目 : ゆたかで個性的な文化県づくり

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 生涯学習の推進 (121)、
青少年の健全育成 (123)、健康づくりと保健予防の推進 (222)

2 基本事務事業を巡る環境変化 過去、現状、将来)

- ・高齢化社会が進んでいる。
- ・学校週5日制の完全実施が2002年と間近に迫っている。
- ・県民の体力、健康づくりに対する関心が一段と高くなり、生涯にわたってスポーツやレクリエーションに親しむ機会、交流の場を求めている。
- ・スポーツの種類、実践目的、方法、実践の場などが多様化している。
- ・県民体育大会、県スポレク祭を廃止し、みえスポーツフェスティバルを開催している。
- ・全国スポレク祭を三重県において2001年に開催し、県民のスポーツ・レクリエーションへの参加を定着させることにより、スポーツの生活化が促進される。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 何をどういう状態にしたいのか)

人生の各ステージに応じて、誰もが、いつでも、どこでも親しめる生涯スポーツの振興を図ることにより、健康で生きがいのある元気な社会づくりを目指す。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 総合計画の目標項目には＊を付す)

＊三重県スポレク祭の参加者数

$$\text{参加率} = \frac{\text{参加者}}{\text{対象者}} \times 100 (\%) \quad \text{※ 対象者は県人口}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

三重県スポレク祭の参加者数 → みえスポーツフェスティバルの参加者数

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

生涯スポーツの参加指標として県スポレク祭(平成11年度からはみえスポーツフェスティバル)の参加者数を指標とした。

3-(4) 結果 施策における2010年度の目標)

県民が自分の自由時間を自主的に、健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションを地元にある総合型地域スポーツクラブで楽しむことができ、明るく豊かで活力に満ちた生活を送ることができる。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(11年度)における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

- ・全国スポレク祭の準備組織として、県準備委員会及び部門別専門委員会を開催し、基本構想、基本計画等及び運営ガイドラインの策定を行うとともに、開催に必要な準備事業を検討、実施した。
- ・祭典を円滑に実施し、必要な連絡調整を行うため文部省、(財)日本体育協会、(財)日本レクリエーション協会、(社)全国体育指導委員連合及び三重県の主催5者で構成する全国スポ

- ・レク祭連絡協議会を開催し、基本構想、会期及び実施種目等を決定した。
- ・先催県の視察及び調査など、各種調査を実施した。
- ・スローガン、マスコット及び愛称を全国に公募し、広報に活用するなど、広報に努めた。
- ・種目別大会の会場地を決定し、会場地市町及び種目団体との連絡会議を開催するとともに、種目の普及教室等を実施し、体制づくりに努めた。

②前年度に残った課題

第14回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催するため、より一層の準備事業の推進が必要である。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・平成11年度に設立した三重県実行委員会及び部門別専門委員会で、先催県等各種調査を実施するとともに、より具体的な事項を盛り込んだ実施要項を策定する。
- ・ニュースポーツのコンテストを実施するため、大学等と連携しながら、学生を中心に企画を進め、全国に募集を行っている。
- ・県民の主体的な参画による全国スポレク祭を目指すため、企画ボランティア「スポレク応援団」、閉会式・シンポジウム企画運営ボランティア・スタッフ「やるき人」などにより企画を進めている。
- ・県内一周キャラバンや一年前イベントを実施するほか、県内各地のイベントに参加するなど、各種広報手段による祭典実施のPRに努めている。
- ・来県する選手団等の円滑な受け入れを図るためトラベルセンターを設置して、各種調査と体制整備に努めている。
- ・先催県である「スポレク石川2000」の閉会式に出席し、祭典旗の引継を受けた。
- ・種目別大会のリハーサル大会を実施、会場地市町及び種目団体の連絡会議を開催するなど体制整備に努めるとともに、協賛事業を募集している。

②本年度残ると思われる課題

- ・平成13年度は11月の実施に向けて、より一層準備事業を進める必要がある。

5 基本事務事業の改革方向

平成11年度に策定した基本構想をベースに、祭典終了後に向けた具体的な展開を検討し、具現化するとともに、平成12年度内に実施要項を策定し、これに基づき一層の準備を進め、円滑な実施に努める。

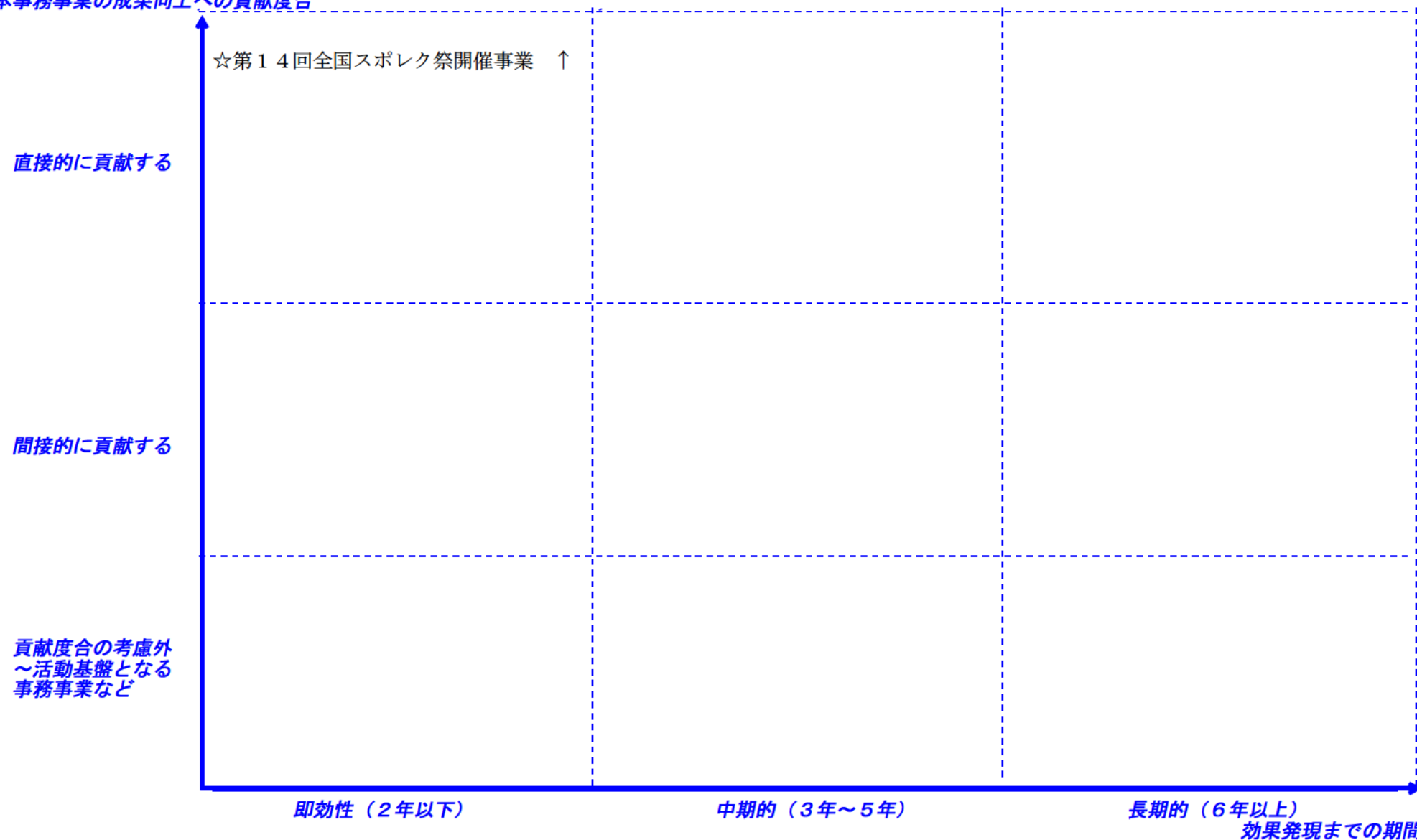
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (円)		必要概算 コスト (円)
	目標	実績		所要時間 時間	時間	
前々年度 (H10年度)	7,000 人	7,351 人		18,159 9,156		56,432
前年度 (H11年度)	20,000 人	23,000 人		29,000 23,158		125,106
本年度 (H12年度)	30,000 人	(集計中)		111,774 53,750		334,837
本年度補正後 (H12年度)				+(or ▲) +(or ▲)	▲ —	+(or ▲) ▲
翌年度 (H13年度)	40,000 人	—		793,188 57,000		1,032,018
計画目標年次 (H 年度)	40,000 人	—		—		—

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

基本事務事業名：スポーツ・レクリエーション祭の開催事業

4/4

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

※ 新規事務事業には、事務事業名に 新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
第14回全国スポレク 祭開催事業	県民一人あたりの休日 におけるスポーツ時間 数	平成13年度に第14回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催するため、実施本部の運営、宿泊、輸送対策、開閉会式、シンポジウムの実施、種目別大会等を実施するとともに、広報活動を展開し、本大会を広く周知することにより、参加意欲及び関心を高め、もって生涯スポーツの普及・振興を図る。	793,188	+681,414	57,000	3,250